

研究用試薬 腸内マイクロバイオーーム DNA/RNA採取キット



OMNigene®・GUT (オムニジーン・ガット)



このような方にお勧めです

- ✓ 非侵襲的に検体採取したい
- ✓ 検体の採取量を定量したい
- ✓ 室温で検体の輸送・保存をしたい
- ✓ 遠方から検体を集めたい

© DNA Genotek, Inc. All rights reserved



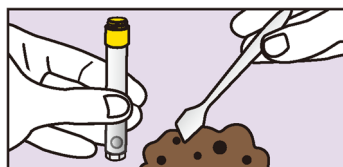
水様便にも対応するスプーンアクセサリ (OM-AC2)もございます。(別売)
こちらで検体の採取量を定量化できます。

型番	検体	ターゲット	室温保存可能期間	詳細はこちら
OMR-200	糞便	マイクロバイオーームDNA	60日間	
OMR-205		マイクロバイオーームDNA・RNA	10日間	

OMNigene®・GUT 検体採取方法



キャップ(紫色)を取り外します。



付属スティックを使用して、少量の糞便サンプルを採取します。



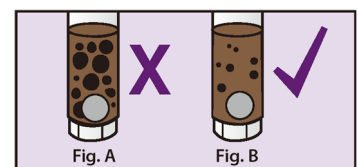
チューブ上部(黄色)からサンプルを入れ、あふれた場合は取り除きます。



キャップ(紫色)を回して閉じます。



チューブを30秒以上振ります。



チューブ内の安定剤とサンプルが混ざったことを確認します。

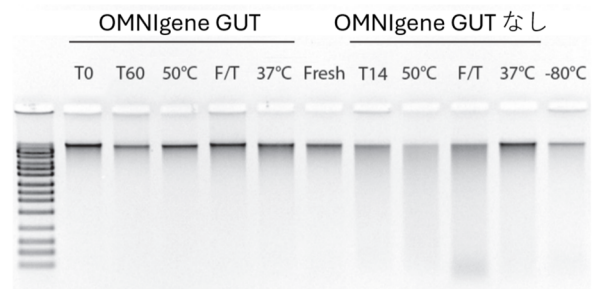
仕様と製品は予告なしに変更されることがあります。

OMNIgene®・GUT (OMR-200)によるマイクロバイオーームDNA安定保存

右写真はそれぞれ異なる温度条件下で検体を保存後、DNAを抽出し電気泳動に流した結果です。

OMNIgene・GUTを使用していない検体ではDNAの分解が見られました。一方でOMNIgene・GUTで採取保存された検体では、様々な条件下においてもDNAの状態にほとんど変化が見られませんでした。

OMNIgene・GUTを使用することで、検体保存の温度管理が容易になります。

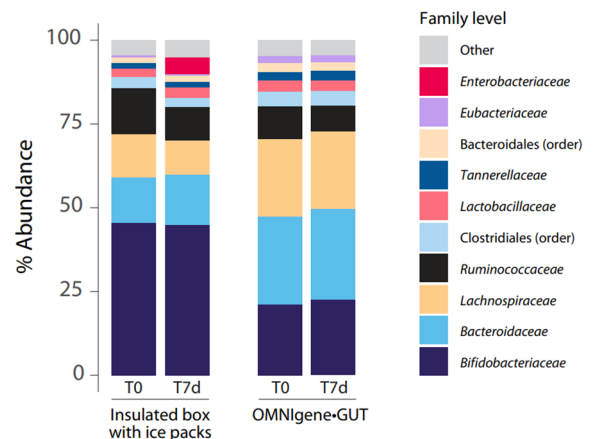


T0 : 採取後3時間以内に抽出精製
 T60 : 23°Cで60日間保存
 50°C : 50°Cで3日間保存
 F/T : 凍結融解を複数回繰り返す
 37°C : 37°Cで3日間保存
 Fresh : 採取直後に抽出精製
 T14 : 23°Cで14日間保存
 -80°C : -80°Cで保存

OMNIgene®・GUTによる菌叢プロファイルの安定保存

検体採取から解析までの間、時間の経過や温度変化など解析に影響を与える様々な要因があります。

右のグラフは、糞便採取直後の菌叢と氷冷で7日間保存した菌叢、OMNIgene・GUTを使って7日間室温で保存した菌叢を比較したもので、いずれも採取後の菌叢を安定に保っていることがわかります。



T0:採取直後 T7d:採取の7日後

姉妹品のご紹介

研究用試薬 糞便中メタボローム採取キット

OMNImet™ GUT
 オムニメット・ガット

糞便中のメタボローム採取に。サンプルは室温で7日間保存可能。



研究用試薬 DNA採取キット

ORAgene® DISCOVER
 オラジーン・ディスカバー

唾液2mlよりDNAを採取。精製前は数年間室温保存が可能。



仕様と製品は予告なしに変更されることがあります。

【製造元】.....

DNA genOTEK

DNA Genotek (カナダ)

【輸入販売元】.....

提案型企業
KYODO
 株式会社協同インターナショナル
 www.kyodo-inc.co.jp/bio/



株式会社 協同インターナショナル ライフサイエンス部
 〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎2-10-9
 TEL : 044-853-2958 FAX : 044-854-1979
 MAIL : life@kyodo-inc.co.jp